

令和6年12月2日

報道機関 各位

特別公開フォーラム「震災における大学の役割」
-能登半島地震・豪雨災害での学生の活動とその意義-

富山大学芸術文化学部では、2024年1月1日に発生した能登半島地震の復興支援を輪島漆芸技術研究所の研修生の受け入れをはじめ、いち早く行ってきました。今回は、北陸学院大学の田中純一教授を講師としてお招きし、実際にボランティア活動に参加している学生からも話を聞きながら、震災における大学の役割を考えていきます。つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時 令和6年12月7日(土) 13時00分～16時30分
- 場所 大学コンソーシアム富山「駅前キャンパス」研修室
(富山市新富町1-2-3 Cicビル5F)
- 申込方法 インターネットによる申し込みフォームからお申込みください。
(令和6年12月4日(水)〆切)
<https://forms.gle/ATdu6jdTQQjvK4CSA>



【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学 五福高岡地区事務部 芸術系総務・学務課 地域連携担当
TEL : 0766-25-9138 Email : tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

特別公開フォーラム

震災における大学の役割

— 能登半島地震・豪雨災害での学生の活動とその意義 —

講師

田中純一

北陸学院大学社会学部社会学学科教授。専門は災害社会学、減災コミュニティ研究。能登半島地震(2007)、東日本大震災(2011)、熊本地震(2016)など国内被災地調査研究のほか、中国、台湾、フィリピン、インドネシア、キューバ、イタリアなど海外の被災地調査にも参加。金沢市能登半島地震課題検証会議座長、金沢市防災備蓄計画検討委員会座長、七尾市地域福祉推進会議専門委員会委員長などを歴任。大学での研究と並行し、防災士育成、地区防災計画づくり、避難所運営研修などに携わる。2007年能登半島地震以降、国内外の被災地に学生ボランティアを引率。



プログラム

挨拶

(13:00 ~ 13:05・5分)

第1部 基調講演

(13:05 ~ 13:50・45分)

テーマ「震災時に大学・学生ができること」

講師 田中純一氏(北陸学院大学教授)

第2部 事例報告

(14:00 ~ 15:15・15分×5団体)

- 1 輪島市深見地区のアート支援活動
大木桃花(富山大学芸術文化学部2年)
- 2 輪島塗の漆器洗浄ボランティア
佐野光希(富山大学芸術文化学部3年)
- 3 未完成漆器再生の取り組み
安藤史織(富山大学芸術文化学部3年)
- 4 建材再利用の救出ボランティア
竹岡怜音(富山大学大学院1年)
- 5 被災地域の計画づくり
重山隼人(富山大学大学院2年)

第3部 意見交換会

(15:30 ~ 16:30)

日時

2024年12月7日(土)

13:00 ~ 16:30

(受付開始 12:30)

場所

大学コンソーシアム富山
「駅前キャンパス」研修室

富山市新富町1-2-3
(CiCビル5F)



申し込み

定員50名・参加費無料

氏名、連絡先をチラシ下部の
問い合わせ先に
お問い合わせ先に
お伝えいただくか、
横のQRコードから
申し込ください。
締切:12月4日



申し込み・問い合わせ 富山大学 五福高岡地区事務部 芸術系総務・学務課 地域連携担当

電話 0766-25-9138 Email tiikiko@adm.u-toyama.ac.jp

主催 富山大学地域連携推進機構 地域づくり・文化支援部門 後援 (公財) 富山県ひとづくり財団

